

ウィーンに集った先進国及び開発途上国双方の政治家のグループは、世界の平和及び発展に関する行動の推進に貢献するため、国際的イニシアティブをとることを開始した。

それぞれの国において国家元首ないし首相として最高責任者の地位を占めた参加者が、このイニシアティブを開始するため、人口と開発に関する世界議員委員会の議長である福田赳夫氏と、国連開発計画事務局長ブラッドフォード・モース氏の共同の招待により集った。参加者は次のとおり。

福 田 赳 夫

1976年～1979年の間 日本国総理大臣

マネア・マネスク

1974年～1979年の間 ルーマニア社会主義共和国首相

エディ・ヌイラ

1970年～1980年の間 テュニジア首相

ミサエル・パストラーナ・ボレロ

1970年～1974年の間 コロンビア大統領

レオポルド・セダール・サンゴール

1960年～1980年の間 セネガル共和国大統領

クルト・ワルトハイム

1972年～1981年の間 国連事務総長

上記に加え、1974年～1982年の間ドイツ連邦共和国首相であったヘルムート・シュミット博士が、今次会合に参加できなかったものの、このイニシアティブに参加することに同意し、この第1回会合の結論を支持した。

1970年から1974年の間連合王国首相であったエドワード・ヒース氏は、今次会合に出席し、国際開発問題に関する独立委員会、通称ブランド委員会のメンバーとして、同委員会の極く最近の作業の結論の概略を説明した。

今次会合の終了にあたり、参加者は下記のコミュニケを採択した。

「我々は、現下の世界情勢、また効果的な国際的行動がなければ生ずるかもしれない世界情勢に対する深刻な懸念を有している結果、イニシアティブをとることに決定した。我々は、深刻な政治・経済上の困難及び国際社会の直面する不均衡、並びにその結果生じる経済的・社会的進歩及び世界平和に対する脅威を検討し、世界の発展に関連する主要問題に関する協調行動を開始することが緊急に必要であることを強調したい。

多くの国の世論が当面の国内問題に目を奪われている今日、この世界情勢の緊張と不確実性の時期における諸国間の協力を助長し維持することが明らかに必要である。我々は発展の大義を進めるための多くの努力が現実にはわずかの進展しかもたらさなかったことを遺憾とする。従って、我々は、開発途上国、先進国を問わず全ての諸国にとり共通の関心のある最重要かつ緊急の問題として、世界の平和と発展を促進するために新しい方法と戦略が必要であることを認識し、諸国間における国際的な相互依存の意味するところとその機会に対しイニシアティブを集中する所存である。

世界の発展の問題に関して数多くの国際会議、研究及び決議が行われているが、未だ政治的決定ないし効果的行動とはなっていない。従って、イニシアティブは、国際連合その他で既の実施されている分析及び既に行われている努力の上にとられるべきであるが、基本的には世界の発展に関連する主要問題に対する行動を刺激し、発展に関する態度および概念の変革を促進することに焦点をあてるべきである。

今次会合を通じて、我々はイニシアティブを開始するための特別な手段につき決定することができた。我々は、1983年後半に20ないし25人の世界中の元国家元首及び首相を招集し、反省、協議及び行動の継続的過程を方向付けるための行動委員会を構成することとした。これによって、世界の発展に関連する主要問題に関する最高レベルにおける国際的対話を強化・拡大し、進歩が可能な主要問題を明らかにすることとする。我々は前国連事務総長のクルト・ワルトハイム博士をこのグループの議長に、またブラッドフォード・モース氏をこのイニシアティブの事務局長に指名した。この長老政治家のグループは、全世界を通じ平和と発展を促進するための提案及び努力に適切に結びつけられることを確保

するため、世界の政界、知識層、実業界及び非政府機関の著名なる人物の非公式なネットワークにより補完されるものとする。我々は、諸政府の行動力が、世論の理解及び支持にかかっていることを認識し、報道機関が、このイニシアティブに適切に参加することを確保するよう措置をとることについても合意した。

このイニシアティブを通じて、我々は、特定の問題について現実的な行動路線を提案し、また、各国政府、諸機関及び世論をこのイニシアティブを支持するように仕向け動員する方法について提案するよう努力する。我々は、特に、意思疎通と説得のための創造的方法を探求する必要がある。従って、我々は、主要工業国及び開発途上国の政府に対し、会合参加者によるハイレベル・ミッションを数次にわたり派遣することにより、イニシアティブから生まれる提案を直接伝達することを決定した。

我々は、また、グループの本会合が行動に関する提案を緊急に作成すべき主要問題について最初の意見交換を行った。提起された諸問題のうち、下記の諸点が特に重要とされた。

：現在の先進国及び開発途上国における経済活動及び雇用のレベルの低下。国際通貨制度の不均衡及び不安定並びに開発途上国の対外債務。開発途上国への譲与的及び非譲与的な資源の流れの減少。開発途上国及び先進国間の交易条件及び保護主義の影響。軍備競争及び軍備への資源の消費が世界の発展の見通しに与える否定的効果。予想される人口増加が食糧供給、エネルギーの供給可能性及び開発に対する全般的かつ長期的制約との関係で有する意味合い。

我々は、また、国際連合諸機関は人類の直面する主要問題の解決に重要な役割を果たしうるものと考ええる。

早期発足を確保するため、更に、我々は、準備を指揮するための少人数の執行委員会を作り、予算は本イニシアティブを支持するための特別拠出金を以って充てることに合意した。

ウィーンにおける今次会合の間に、参加者はルドルフ・キルヒシュレーガー オーストリア共和国大統領、ブルーノ・クライスキー首相及びヴィリーバルト・パール外相と会見したが、これらオーストリア首脳はオーストリアが世界の発展の問題を重視していることを強調し、オーストリア政府並びに国民が本イニシアティブの成功を願っている旨を伝えた。